

## 議事録

日 時：平成29年9月12日（火）15：00～17：00				会 場：地盤工学会3階中会議室				
部 長	高橋 章浩	○	副会長	菊池 喜昭	○	理 事	石川 達也	●
部 員	鈴木健一郎	×	部 員 (代)	小林 浩二	○	部 員	宮田 喜壽	●
部 員	岸田 潔	●	部 員	渡邊 康司	×	部 員	杉本 映湖	×
部 員	越村 賢司	○	部 員	榎本 忠夫	○			

(事務局：新田、小畑)

●：電子会議出席    ×：欠席    △：未定

### 議事録確認

1. 議事録者の指名 ..... (別紙-1) p. 1  
 ・越村部員が指名され了承した。
2. 前回議事録の確認：公益出版部会（7/11） ..... (別紙-2) pp. 2-4  
 ・高橋部長から前回議事録が説明され、承認された。  
 ・RCCM 資格更新時に配布される DVD の転載許諾については、前回部会後メール審議を行い 処置済である。

### 審 議 事 項

#### 公益出版部（全体）

1. 電子化 WG に関する対応 ..... (別紙-3) pp. 5-16  
 ・公益出版部での検討事項がいくつか出されたため、これについて協議した。協議結果は以下の通りである。
  - ✓ 今後電子図書室に移設する学会誌電子版は、移設前と同様、スクリーンリーダー機能を付けたままとする。
  - ✓ サーバー容量に余裕があるため、学会誌電子版は1年経過後も残す方針とする。
  - ✓ 電子図書室は会員専用であるが、退会者への過去の学会誌の公開方法については、今後の課題となる。
  - ✓ 学会誌電子版から冊子にもどす要望には随時応えるものとするが、切り替え時期は年1回とする。
  - ✓ 冊子から学会誌電子版への切り替え時期は、当面年1回とする。
2. 学会誌電子版ログイン方法の変更と案内について ..... (別紙-4) pp. 17-21  
 ・10月から学会誌電子版ログイン方法の変更を行うものとする。それに先立ち、9月中に変更案内のメールを事務局のほうから送付する。具体的な日時は事務局のほうで決定する。  
 ・送付案については、会員統合メールおよび利用登録メールともに「案2」を採用とする。ただし、「案1」の最後の文章を追加する。

#### 会誌運営委員会

- ・今回審議なし。

#### Soils and Foundations 編集委員会

- ・今回審議なし。

#### 地盤工学ジャーナル編集委員会

- ・今回審議なし。

#### 出版企画 WG（旧：出版企画委員会）

- ・今回審議なし。

## 報告・確認事項

### 公益出版部（全体）

1. 平成30年度第1次予算案および事業計画案の作成について……………（別紙-5）p. 22  
・高橋部長から、1次予算案の作成前に総務部との意見交換があったと報告があった。
2. 平成29年度公益出版部収支報告（29年7月末現在）……………（別紙-6）pp. 23-24（添付資料-1）  
・事務局のほうから公益出版部収支報告の説明があった。書籍については、「土と基礎の設計計算演習」が7月に発行したとの報告があった。
3. 理事会（7/28(8/2追加審議含む）開催報告……………（別紙-7）pp. 25-33  
・高橋部長から、前回理事会の報告があり、内容を確認した。  
・「基礎の支持力と変形入門(仮称)の出版計画、「河川堤防の調査・検討から維持管理まで」の出版計画変更、そしてS&F購読者増加策(メール審議)について承認を受けたとの報告があった。
4. 「ダイバーシティ促進のための会費減免」利用の条件他について……………（別紙-8）pp. 34-35  
・高橋部長より、詳細な事務取扱要領を会員・支部部に依頼済である旨報告があった。

### 会誌運営委員会

- ・石川部員から会誌運営委員会の報告があった。
1. 前回議事録(案)(8/21)の確認……………（別紙-9）pp. 36-38  
・前回議事録について内容を確認した
  2. 「地盤工学会誌」の発行、目次……………（別紙-10）pp. 39-41  
・平成29年10月号および11・12月合併号の目次内容について確認した。
  3. 「地盤工学会誌」平成30年の特集テーマ変更について……………（別紙-11）p. 42  
・国際地盤工学会(ソウル大会)の記事を平成30年3月号に掲載することを確認した。  
・上記掲載に伴い、平成30年度特集テーマの変更を行う。変更については10月号に掲載予定であることを確認した。

### Soils and Foundations 編集委員会

- ・宮田部員からS&F編集委員会の報告があった。
1. 前回議事録(8/1、8/24)の確認……………（別紙-12）pp. 43-44  
・購読者を増やすため、9/18に国際地盤工学会(ソウル大会)で外国人も参加し、合同ミーティングを行う。結果等については、次回の部会で報告する。  
・国際地盤工学会(ソウル大会)でA4版でS&F広告を1200部配布し、宣伝活動を行う。
  2. Soils and Foundations 編集・発行 進捗状況について……………（別紙-13）p. 45  
・10月号(Vol. 57, No. 5、10月31日発行予定)について報告があり、内容を確認した。

### 地盤工学ジャーナル編集委員会

1. 地盤工学ジャーナル編集・発行 進捗状況について……………（別紙-14）p. 46  
・岸田部員より、9月号(Vol. 12, No. 3:9月30日発行予定)について報告があり、内容を確認した。

### 出版企画WG（旧：出版企画委員会）

1. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……………（別紙-15）pp. 47-48（添付資料-2）  
・越村部員より、FEMシリーズの進捗の説明があり、状況等を確認した。  
・支持力入門は順調に進捗していることを確認した。  
・「河川堤防の調査・検討から維持管理まで」については、転載許諾関係が残っていることを確認した。  
・「土と基礎の設計計算演習」はすでに発刊されているため、次回からは除外とする。
2. その他；技術普及委員会：講習会開催予定など……………（別紙-16）pp. 49-54（添付資料-3）  
・技術普及委員会の議事録(6/15、8/2)を確認した。  
・講習会開催予定表を確認した。「土と基礎の設計計算演習」は新刊本が発行されているため、今年度講習会開催予定である。また、「河川堤防の調査・検討・維持管理講習会」は、本ができてから講習会の計画を行う。

## そ の 他

### 1. 学会誌の今後に関する自由意見交換

- ・本部会では、主に電子化に関して以下の自由意見が出された。
  - ✓ 電子化に向けて、損益やメリットデメリットがないと判断できない
  - ✓ 電子化を普及するにはeラーニングの導入したらどうか
  - ✓ 損益を上げるため、ハイブリット(紙版の発行回数を減らし、代わりに電子版で情報提供)を導入したらどうか
  - ✓ 少数意見をどこまで取り入れるべきか
  - ✓ 会員であることのメリットを明確にするべきでは
  - ✓ 講座の企画・運営方法をどうすべきか。学会誌と独立するか
- ・上記のことを踏まえ、以下の方針で検討を進める。
  - ① 電子化に向けて想定されるシナリオの作成。可能であれば予算も含める(高橋部長のほうで素案を作成)
  - ② 会誌・講座委員会に確認していただく(メリット・デメリットを検討)
  - ③ 電子化WGに検討内容を提供し、議論していただくとともに、電子化WGを介して各部会に意見照会する。

### 2. 「役立つ!! 地盤リスクの知識」の不良在庫改装……………(別紙-17) pp. 55-57

- ・見積金額および在庫冊数(236冊)から250部印刷することで決定した。

### 3. 学会書籍の増刷について……………(別紙-18) pp. 58-62

- ・事務局のほうで、在庫切れの書籍をピックアップし、出版企画WGに提示する。
- ・出版企画WGのほうで予算の範囲内で優先順位、印刷部数を検討する。
- ・今年度予算計上しているため、今年度中に印刷を行う。
- ・今後、継続販売・絶版等の書籍の見直し評価を行うにあたり、人手不足の場合は部会メンバーも協力する。

---

### ●次回理事会(9/29)への提案事項の確認

- ・特になし

### ●次回以降理事会開催日

9/29(金), 10/27(金)【書面】, 11/24(金), 12/22(金)【書面】, 30年:1/26(金),  
2/23(金) <書面会議>, 3/16(金)

★次回部会開催日:平成29年11月 9日(木) 15:00~17:00 場所は追って連絡

以 上